

授業科目名・形態	在宅ケア論Ⅱ	講義	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	石川セツ子		実務経験の有無	有	開講期	2年後期

【授業の主題】

地域・在宅看護における保健・医療・福祉サービスと連携の必要性を学ぶ。また、在宅看護の機能と役割、課題を理解するとともに、在宅看護における医療処置が必要な療養者と家族への援助について考えを深める。また、災害時の対応と連携の在り方について学ぶ。

【到達目標】

- 1) 在宅看護サービス事業の管理と経営について理解できる。
- 2) 在宅看護と他機関・他施設における看護の連携方法を理解できる。
- 3) 在宅で遭遇することの多い感染症をもつ療養者の看護について理解できる。
- 4) 在宅看護における災害時の対応支援と連携について理解できる。
- 5) 療養者と家族への支援の基本となる、在宅看護過程の目的や方法について説明できる。

【授業計画・内容】

- 第1回 さまざまな対象者への在宅看護① 1) 要介護高齢者 2) 認知症 (石川)
- 第2回 さまざまな対象者への在宅看護② (石川)
1) 神経難病 2) 疾病や障害を持つ小児 3) 精神疾患
- 第3回 訪問看護ステーションの運営・経営・管理 ① (講義) (石川)
- 第4回 訪問看護ステーションの運営・経営の実際 ② 演習・発表 (石川)
- 第5回 ヘルスアセスメントと看護技術 ① (在宅医療支援) (石川)
1) 服薬管理 2) 経管栄養 3) 胃瘻 4) 膀胱留置カテーテル
- 第6回 ヘルスアセスメントと看護技術 ② (講義) 石川
1) 在宅酸素療法 2) 在宅人工呼吸療法 3) 呼吸リハビリテーション 4) 吸引)
- 第7回 ヘルスアセスメントと看護技術 ③ (講義) (石川)
1) 在宅輸液療法 2) 褥瘡
- 第8回 医療処置が必要な療養者と家族への援助・在宅における感染症と感染対策 (石川)
- 第9回 リスクマネジメントおよび在宅看護における災害時の対応と連携 (石川)
- 第10回 訪問看護ステーションにおける看護活動の実際 (石川)
- 第11回 がん療養者への在宅看護 (石川)
1) がん看護と疼痛コントロール 2) 看取りの看護
- 第12回 諸外国の在宅看護 (イギリス・オランダ・アメリカ) (石川)
- 第13回 在宅看護過程 (倫理的課題含む) 講義 (石川)
- 第14回 在宅看護過程の事例展開 ① グループワーク (石川)
- 第15回 在宅看護過程の事例展開 ② 発表 (石川)

【授業実施方法】

講義・演習・グループワーク・発表など。

【授業準備】

在宅療養者に多い主な疾患と特徴や関連する社会的状況について、事前に情報収集し講義で確認する。

【主な関連する科目】：在宅ケア論Ⅰ・Ⅱ 在宅ケア実習Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】：石垣和子・上野まり編集：在宅看護論 自分らしい生活の継続をめざして、南江堂、改定版 (2020.3 版)

【参考文献】：令和4年版訪問看護業務の手引き等、必要に応じ授業で紹介する。

【成績評価方法】：後期定期試験 (60%)、②ワーク・レポート・演習等による発言、発表等 (40%) による総合評価。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

訪問看護業の運営業務の経験を活かし、事例等を紹介し分かりやすい授業内容にする。また、諸外国の在宅看護視察研修の体験をもとに、日本の仕組みとの違いについて紹介する。

【学生へのメッセージ】

- ① 在宅看護に関連する法律について理解を深めるとともに、在宅療養の意義について学びましょう。
- ② 地域・在宅看護の特徴を知り、療養者が望む住み慣れた地域での生活とは。感じ取っていただきたい。
- ③ 社会情勢等の動向について、新聞やマスコミ等に関心を持ち在宅看護との関連性について考えてみましょう。